

安全データシート

AESUB orange

項目 1: 物質/製剤および会社/企業の特典

1.1. 製品識別子

製品名

AESUB orange

製品番号

AESO101

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

物質または混合物で関連の特定使用

塗料

対提言使用

不明。

1.3. 安全データシートの供給業者の詳細

会社と住所

Scanningspray Vertriebs GmbH

Johann-Strauss-Str. 13

45657 Recklinghausen

Germany

+49 (0)2361 8903 357

info@aesub.com

担当者

Max Liese

電子メール

liese@aesub.com

SDS 日付

2026/07/03

SDS バージョン

3.0

前作成日

2026/06/22 (2.0)

1.4. 緊急連絡用電話番号 (受付時間)

(CCN 994267 / WISAG FMO Cargo Service GmbH &

株式会社KG)

24 時間対応の緊急連絡先電話番号 (WISAG) - 日本。

電話: 81-345209637;

項目2: 危険有害性の要約

JISZ7252に基づく分類。

2.1. 物質または混合物の分類

Aerosol 1; H222, H229, 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。圧力容器：加熱すると破裂する可能性があります。

2.2. ラベル要素

危険有害性の絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。圧力容器：加熱すると破裂する可能性があります。(H222, H229)

注意書き

▼概要

子供の手の届かないところに置くこと。(P102)

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。(P101)

使用前にラベルをよく読むこと。(P103)

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。(P211)

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)

応急措置

該当なし。

保管

日光から遮断し、50°C以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)

廃棄

該当なし。

危険有害性成分

ラベルに記載する必要のある物質は含まれていません。

追加ラベル付け

2.3. その他の危険有害性

他の危険有害性

漏れが起きた場合、高濃度のガスがすぐに形成される危険がある。有毒であったり、窒息性、または爆発性である可能性がある。

項目3: 組成及び成分情報

3.1. 成分

該当なし。この製品は混合物です。

3.2. 混合物

製品 / 成分	識別子	% w/w	分類	注記
Butane	CAS番号: 106-97-8 EC番号: 203-448-7	50-75%	Flam. Gas 1A, H220 Press. Gas (Liq.), H280	
Ethanol	CAS番号: 64-17-5 EC番号: 200-578-6	15-25%	Flam. Liq. 2, H225 Eye Irrit. 2, H319 (SCL: 50.00 %)	
Propane	CAS番号: 74-98-6 EC番号: 200-827-9	10-25%	Flam. Gas 1A, H220 Press. Gas (Liq.), H280	
Cyclopentane	CAS番号: 287-92-3 EC番号: 206-016-6	5-10%	Flam. Liq. 2, H225 Asp. Tox. 1, H304 STOT SE 3, H336 Aquatic Chronic 3, H412	
Isobutane	CAS番号: 75-28-5 EC番号: 200-857-2	1-5%	Flam. Gas 1A, H220 Press. Gas (Liq.), H280	

セクション16のHフレーズの全文を参照のこと。職業ばく露限界は利用可能な場合は、セクション8に記載されている。

その他の情報

項目4: 応急措置

4.1. 応急処置の解説

一般情報

事故の場合：医師または緊急部門に連絡すること - ラベルまたはこの安全データシートを持参する。

被害者の状態に疑問がある場合、または症状が継続する場合は、医師に連絡すること。絶対に意識不明の人に水やその他の飲み物を与えないこと。

吸入した場合

呼吸困難や気道を刺激した場合：被害者が新鮮な空気を吸える場所に移動し、一緒に付き添う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類や靴を直に取り除くこと。必ずばく露した皮膚を水と石鹸で十分に洗う。皮膚清拭剤も使用できる。溶剤やシンナーは絶対に使用しない。

眼に入った場合

眼に入った場合：水または食塩水（20～30℃）で少なくとも5分間、目を洗うこと。コンタクトレンズを取り外し、目を広く開くこと。医師と相談し、搬送中にも続けて洗うこと。

飲み込んだ場合

患者が意識している場合は、水で口をすすぐ、患者と一緒にしてください。倦怠感が生じた場合は、製品の安全データシートまたはラベルを持参して、直ちに医師の診察を受けること。医師の勧めがない限り、嘔吐を誘発しないこと。嘔吐物を飲み込んだり、窒息を避けるために、被害者の頭を下げて前かがみにさせること。

やけど

痛みがなくなるまで水ですすぎ、さらに30分間すすぐ。

4.2. 重大な症状と作用の大部分には、急性および遅延性の両方がある不明。

4.3. 何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示 対症療法を行う。

医師に対する特別な注意事項

この安全データシートを持参のこと。

項目5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切：耐アルコール泡、炭酸、粉末、水ミスト。

不適切：ウォータージェットは火を広げる可能性があるため、使用してはならない。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。圧力容器。火の中にある、または過熱されている場合は、圧力上昇が発生し、容器が破裂することがある

使用中に可燃性/爆発性の蒸気と空気の混合物を形成することがあります。

火は濃い煙をもたらす。燃焼製品にさらされると、健康に害を及ぼす可能性がある。火にさらされた密閉容器は、水で冷却するべきである。絶対に、消火水が下水や近くの地表水に入らないようにする。

例えば火災など製品が高温にさらされた場合、危険な分解化合物が生成される。これらは次がある：

酸化炭素 (CO / CO₂)

5.3. 消防士に対する助言

接触を防ぐために、自給式呼吸装置と防護服を着用すること。直接ばく露した場合は、引き続き助言を得るために緊急サービス（119）に連絡すること。

項目6: 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

偶発的放出は常に、火事または爆発の重大なリスクを課すことになる。

まだ引火されていない保管物は水ミストで冷却する必要がある。条件が可能であれば、可燃性の物質を取り除くこと。十分な換気を行うこと。
とりわけ密閉区域における換気を適切に行うようにする。

6.2. 環境に対する注意事項

湖、小川、下水道などへの排出を避けること。
権限のない人を流出から遠ざける

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不燃性、吸収性物質で流出物を入れて収集します。砂、土、パーミキュライトまたは珪藻土を廃棄し、地元の規制に従って廃棄できるように容器に入れます。
洗浄は可能な限り、通常の洗浄剤で行う。溶剤の使用は避けること。

6.4. 他のセクションを参照

廃棄物取り扱いの追加情報に関してはセクション13を参照。
適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。

項目7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全に取扱うための注意事項

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
妊娠中および授乳期中は接触を避けること。
作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。
作業保護に関する情報については、「ばく露制御/個人保護」のセクションを参照のこと。

7.2. あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

必ず発火の可能性がある場所から離れて、涼しく、換気の良い領域に保管すること。
加圧されたガスパック（スプレー缶、エアゾール缶）は、ワイヤーメッシュを設置し、その後ろに保管しなければならない。これにより、ガスを逃がし、パックが飛び散ることを防ぐ。

推奨保管材料

他の容器に移し替えないこと。

保管条件

< 50°C

湿気を遮断すること。

乾燥、涼しい、十分な換気

日光から遮断すること。

混触危険物質

強酸化剤

7.3. 特定の最終用途

この製品はセクション1.2で引用した応用のみに使用しなければならない。

項目8: ばく露防止及び保護措置

8.1. 許容濃度

Butane

長期ばく露制限（8時間）(mg/m³) : 1200

長期ばく露制限（8時間）(ppm) : 500

許容濃度等の勧告（2023-2024年度）, 2023年5月10日 日本産業衛生学会

8.2. 暴露の管理

所定の職業ばく露限界値への準拠は、定期的に制御しなければならない。

一般的な推奨事項

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

ばく露シナリオ

"この製品にはばく露シナリオは実装されていない。

暴露限界値

JIS Z 7253:2019 による

プロの利用者は職業ばく露のために法的に設定された最大濃度が対象になる。上記の労働衛生限界値を参照のこと。

適切な技術的管理

製品の使用中には標準的な注意事項を適用すること。ガスやほこりの吸入を避けること。

衛生対策

製品の使用の間と、作業日の終わりに、体のすべてのばく露部分を徹底的に洗浄する必要がある。手、前腕、顔には特に注意を払います。

環境暴露管理

特定の要件なし。

個人の保護措置

一般的

CEマークが付いた保護具のみを使用すること。

呼吸用保護具

推奨フィルタの種類	クラス	クラス	標準	
AX		茶色	EN14387	
コンビネーションフィルタ A2B2E2K1-P2	クラス 1/2	茶色/灰色/黄色/緑/白	EN14387	

身体保護具

推奨	タイプ / カテゴリ	標準	
専用作業服	-	-	

手の保護具

材料	手袋の厚さ (mm)	破過時間 (分)	標準	
ブチル	0,7	> 240	EN374-2, EN16523-1, EN388, EN421	

保護眼鏡/保護面

推奨	標準	
サイドシールド付きの安全メガネを着用すること。	EN166	
ばく露の可能性が高い場合は顔保護具を使用すること	EN166	

項目9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理学および化学的特性に関する情報

物理的状

エアロゾル

色

無色

臭い

特性

臭気しきい値 (ppm)

利用可能なデータなし.

pH

利用可能なデータなし.

比重 (g/cm³)

利用可能なデータなし.

粘度

利用可能なデータなし.

粒子特性

利用可能なデータなし.

フェーズの変更

融点・凝固点 (°C)

利用可能なデータなし.

軟化点/範囲 (°C)

エアロゾルには適用されません。

沸点/沸騰範囲 (°C)

利用可能なデータなし.

蒸気圧

利用可能なデータなし.

蒸気密度

利用可能なデータなし.

分解温度 (°C)

利用可能なデータなし.

蒸発速度

火災および爆発の危険性に関するデータ

引火点 (°C)

-87.0 @ 1.013 hPa

引火性 (°C)

287

自然発火温度 (°C)

利用可能なデータなし.

爆発 (燃焼) 限界の上限および下限 (% v/v)

1.1 - 15

溶解度

水中の溶解度

利用可能なデータなし.

分配係数 (LogKow)

利用可能なデータなし.

脂肪の溶解度 (g/L)

利用可能なデータなし.

9.2. その他の情報

揮発性有機化合物(VOC)

その他の物理的および化学的パラメータ

利用可能なデータなし.

酸化特性

利用可能なデータなし.

項目10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

利用可能なデータなし.

10.2. 化学的安定性

製品は「取り扱」と保管」のセクションに記載されている条件下で安定している。

10.3. 危険有害反応可能性

不明。

10.4. 避けるべき条件

絶対にいかなる形態の熱（例えば太陽熱）にもさらさないこと。過剰な圧力につながる可能性がある。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。

日光から遮断すること。

10.5. 混触危険物質

強酸化剤

10.6. 危険有害な分解生成物

通常の保管および使用条件下では、有害な分解生成物は発生しません。

項目11: 有害性情報

11.1. 毒物学的作用に関する情報

急性毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

刺激性/腐食性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

重篤な眼の損傷/刺激

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

呼吸器ま感作

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

皮膚感作

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

変異原性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

発がん性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

催奇形性 / 発育への影響

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

呼吸に対する危険有害性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

健康への慢性効果の可能性

不明。

項目12: 環境影響情報

12.1. 毒性

製品 / 成分	Butane
種類:	魚類
存続期間:	96 時間
テスト:	LC50
結果:	27,98 mg/L

製品 / 成分	Butane
種類:	藻類
存続期間:	96 時間
テスト:	EC50
結果:	7,71 mg/L

JIS Z 7253:2019 による

製品 / 成分	Propane
種類:	魚類
存続期間:	96 時間
テスト:	LC50
結果:	27,98 mg/L

製品 / 成分	Propane
種類:	藻類
存続期間:	96 時間
テスト:	EC50
結果:	7,71 mg/L

製品 / 成分	Cyclopentane
種類:	魚類
存続期間:	96 時間
テスト:	LL50
結果:	29.3 mg/L

製品 / 成分	Isobutane
種類:	魚類
存続期間:	96 時間
テスト:	LC50
結果:	27,98 mg/L

製品 / 成分	Isobutane
種類:	藻類
存続期間:	96 時間
テスト:	EC50
結果:	7,71 mg/L

利用可能なデータに基づく、分類基準は満たされていません。

12.2. 残留性・分解性

製品 / 成分	Ethanol
結果:	69% 5d
結論:	-

製品 / 成分	Cyclopentane
結果:	0% 28d
結論:	-

12.3. 生体蓄積性

製品 / 成分	Ethanol
LogKow:	-0,77
結論:	-

製品 / 成分	Propane
LogKow:	1,09 (pH: 7, 20 °C)
結論:	-

製品 / 成分	Cyclopentane
BCF:	70,8
LogKow:	3 (pH: 7, 25 °C)
結論:	-

12.4. 土壌中の移動性

利用可能なデータなし.

12.5. 12.5.PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

12.6. その他の悪影響

不明。

項目13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

内容物/容器をに廃棄すること。

特定のラベル

汚染された包装

製品の残渣を含む包装は製品と同様に処分する必要がある。

項目14: 輸送上の注意

14.1 国連番号	14.2 輸送固有名	14.3 範疇	14.4 PG*	14.5 Env**	その他の情報:
ADR/A DN/RID	UN1950 エアゾール	クラス 等級: 2 等級: 2.1 Classification code: 5F 	-	いいえ	許容質量: 1 L ンネル制限コード: (D) 追加情報については、以下を参照してください。
IMDG	UN1950 AEROSOLS	クラス 等級: 2 等級: 2.1 Classification code: 5F 	-	いいえ	許容質量: 1 L EmS: F-D S-U 追加情報については、以下を参照してください。
IATA	UN1950 AEROSOLS	クラス 等級: 2 等級: 2.1 Classification code: 5F 	-	いいえ	追加情報については、以下を参照してください。

* 容器等級

** 環境有害性

追加情報

この製品は危険物の輸送規制範囲内である。

本製品は環境負荷物質であるが、5L/5kg以下の包装で提供されるため、環境負荷物質マークは省略した。

ADR/ADN/RID / 輸送に関連した特別な規定、要求事項又は注意事項に関する情報については3.2.1項の表Aを参照して下さい。輸送中の事件又は事故によって生じた損傷の緩和に関する書面での説明については5.4.3項を参照して下さい。

IMDG / 輸送に関連した特別な規定、要求事項又は注意事項に関する情報については3.2.1項の表Aを参照して下さい。

IATA / 輸送に関連した特別な規定、要求事項又は注意事項に関する情報については4.2.項の表を参照して下さい。

14.6. 使用者のための特別な予防措置

該当なし。

14.7. MARPOL条約の附属書IIおよびIBCコードによるばら積み運搬

利用可能なデータなし。

項目15: 適用法令

15.1. 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律

応用の制限

18歳未満の方は、本製品へのばく露を避けるべきである。

妊娠中の女性や授乳中の女性はこの製品にさらされないようにする必要がある。ばく露を排除する必要がある作業場のリスク、可能な技術的な予防措置または設計を考慮する必要がある。

消防法

危険物 第4類 第1石油類（非水溶性）

特定教育に対する要求

特定の要件なし。

その他の情報

該当なし。

既存および新規化学物質（ENCS）

どの化学成分も表示されていない。

毒物及び劇物取締法

どの化学成分も表示されていない。

化管法（PRTR）

どの化学成分も表示されていない。

有機溶剤中毒予防規則

どの化学成分も表示されていない。

労働安全衛生法（ISHL）

どの化学成分も表示されていない。

消防法

該当なし。

ソース

GHSに基づく化学品の分類方法. JIS Z 7252 (2019)

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS). JIS Z 7253 (2019)

項目16: その他の情報

セクション3に記載のHフレーズ全文

H220, 極めて可燃性/引火性の高いガス。

H225, 引火性の高い液体および蒸気。

H280, 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ。

H304, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H319, 強い眼刺激。

H336, 眠気やめまいのおそれ。

H412, 長期的影響により水生生物に有害。

セクション1に記載の識別された使用の全文

不明。

略語と頭字語

ACGIH = アメリカ産業衛生専門家会議

ADN = ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定

ADR = ヨーロッパ道路危険物運送条約

ATE = 急性毒性見積

BCF = 生物濃縮係数

CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス

EINECS = 欧州既存商業化学物質リスト

GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

IARC = 国際がん研究機関

IATA = 国際航空運送協会

IMDG = 国際海上危険物規程

LogPow = オクタノール/水分配係数の対数

MARPOL = 1978年の議定書によって修正された1973年船舶による汚染防止のための国際条約

NIOSH = 国立労働安全衛生研究所
OECD = 経済協力開発機構
OSHA = 労働安全衛生局
RID = 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制
RRN = REACH登録番号
SCL = には特定の濃度限界値 (SCL) がある。
STEL = 短期ばく露限界
STOT-RE = 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
STOT-SE = 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
TWA = 時間加重平均
UN = 国際連合
VOC = 揮発性有機化合物

追加情報

物理的な危険に関する混合物の分類は、実験データに基づいている。

安全データシートは次により確認される

Max Liese

その他

前回の主要なバージョン (バージョン番号の最初の数字、SDSのセクション1を参照) からの変更点は、三角形で記されています。

この安全データシートの情報はこの特定製品 (セクション1に記載) にのみ適用され、他の化学薬品/製品で使用する場合は必ずしも正しいものではない。

この安全データシートを、製品の実際の利用者に渡すことを推奨する。この安全データシートの情報は製品仕様としては使用できない。

国-言語 : JP-ja